



弟子屈町

## 概要

弟子屈町は、摩周湖、屈斜路湖等の景勝地を有し毎年多くの観光客が訪れるが、通過型観光が主流であるとともに、その多くがマイカーを利用するため、排気ガスによる自然環境への負荷が懸念されている。このため、自然環境の保護と観光振興の両立、滞在型観光への転換を目指し、摩周湖周辺におけるマイカー規制・代替バスの運行、循環バスの導入等の調査検討を実施する。

### 地域公共交通の現況

- ・JR釧網本線(南弟子屈駅、摩周駅、美留和駅、川湯温泉駅)
- ・(株)阿寒バス(地域4路線、観光3路線 期間運行)
- ・スクールバス(3本)

### 地域公共交通の課題

- ・観光客のマイカーによる環境負荷の増大
- ・通過型観光
- ・観光客向けの2次交通の欠如
- ・マイカー依存型の生活交通

### 調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・摩周湖周辺におけるマイカー規制・代替バス運行の試験実施
- ・川湯・屈斜路地域における循環バスの試験運行
- ・市街地における循環バスの試験運行

### 策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・摩周湖周辺におけるマイカー規制・代替バスの運行の検討
- ・川湯・屈斜路地域における循環バスの導入の検討
- ・弟子屈市街地における循環バスの導入の検討



## 弟子屈町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

### 主な調査の実施内容

- 現況交通実態調査
  - ・人口、世帯数推移、生活関連施設等の実態、通勤・通学実態の調査及び町内路線バス・観光交通の実態調査を実施。
- 利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
  - ・路線バス利用者へのヒアリング及び摩周湖観光交通実験における代替バス利用者アンケート等の各種調査を実施。
- 摩周湖周辺におけるマイカー規制・代替バス運行の試験実施
- 川湯・屈斜路地域における循環バスの試験運行
- 市街地における循環バスの試験運行
  - ・摩周湖に乗り入れる道道を通行規制のうえ代替バスを運行するとともに、多様な交通手段の確保を目指し、屈斜路湖方面や市街地において循環バスを運行し、また、地域での滞在時間増加などを目的に乗車特典クーポンの発行やレンタサイクルを実施。(H20.8.25 ~ 9.7、2週間、町民ボランティアによるバスガイド、記念フォーラム開催、エコモビリティの啓蒙・情報発信)

協議会開催状況

4回開催

分科会等開催状況

-

左記開催状況はH21.1.30現在

### 予定している連携計画の内容

- 環境負荷の小さい摩周湖アクセスの確立(実施主体:弟子屈町・観光協会・商工会・交通事業者・町内各団体、実施時期:H21~)
  - ・H21は交通規制を行わず、利用しやすい交通体系の構築・充実により、摩周エコ交通実証運行を実施。
  - ・女満別空港との接続バスの試験運行、JRとの連携・自転車の活用による町内周遊エコフリーバスやバス利用特典クーポンを発行。
- 市街地巡回及び川湯・屈斜路湖方面へのバス運行(実施主体:弟子屈町・交通事業者、実施時期:H21~)
  - ・上記の実証運行と併せ運行し、観光交通と地域交通としての可能性を検証。
- 利用促進に向けた啓蒙活動・利便性の向上(実施主体:商工会・弟子屈町・釧路公立大学、実施時期:H21~)
  - ・セミナー・フォーラムの開催、全町ノーマイカーデーの実施、廃油回収によるBDF燃料の精製・使用、JRとの接続や通院・通学・買物等のバス利用目的に応じたダイヤの見直し等を実施。

### 自己評価のポイント

ヒアリング調査、アンケート調査、マイカー規制・代替バス運行の試験実施、循環バスの試験運行等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

### 二次評価のポイント

自己評価のとおり。